

令和7年度 こども園評価書

堺市立津久野こども園

<p>教育・保育理念</p> <p>・自分も友だちも大切に作る心の育成・学びの芽の育成・自分の可能性や能力を十分に発揮できる力の育成</p>
--

重点目標	<p>・体をのびのびと動かし、しなやかな体をつくる</p> <p>・人との関わりの中で、学びあい、育ちあう関係をつくる</p> <p>・自然に触れる体験を通して、生命の不思議さや尊さに気づく</p> <p>・主体的に遊びこむ活動を保障し、学びに向かう芽を育てる</p> <p>・保護者や地域の方と連携し、ともに子育てをする</p> <p>・幼稚園、小学校、中学校と連携し、学びと育ちをつなぐ</p> <p>・職員の資質向上をめざす</p>
	<p>・体をのびのびと動かし、しなやかな体をつくる</p> <p>・人との関わりの中で、学びあい、育ちあう関係をつくる</p> <p>・自然に触れる体験を通して、生命の不思議さや尊さに気づく</p> <p>・主体的に遊びこむ活動を保障し、学びに向かう芽を育てる</p> <p>・保護者や地域の方と連携し、ともに子育てをする</p> <p>・幼稚園、小学校、中学校と連携し、学びと育ちをつなぐ</p> <p>・職員の資質向上をめざす</p>

<p>園の重点項目</p> <p>・一人一人の人権を尊重した関わりをすることで、子どもたちが自分も人も大切に思い、主体的に環境に関わっていける基盤を育てる</p>

重点目標	重点目標に向けた具体策	評価項目	評価	自己評価	評価	こども園評価
体をのびのびと動かし、しなやかな体をつくる	アートヨガ、リズム運動など全身運動を活発にし、しなやかな体づくり、支持力を高める体づくりをする。	・こどもの発達過程に応じ、個人差に配慮しながら、発達を保障する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム運動を定期的に取り組んだり、ホールや園庭などで全身運動を行いしなやかな体をつくる事ができた。その際には「やってみよう」という気持ちを大切にし「出来た」という達成感から自信へと繋げることができた。 ・事故防止のため環境を整備したり職員が連携をしてこどもの見守りを行った。こどもたちへもルールを繰り返し伝えるなど安全教育を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな種目を自分で選んで挑戦するという運動会の取り組みは素晴らしいと思いました。やる気も出るし達成感も大きく自身に繋がると感じました。 ・各学年、個々に応じた遊びを工夫されていて、こどもたちが楽しみながら体づくりに取り組みしています。安全に配慮した環境づくりもできています。
		・教育・保育中の事故防止のため、園内外の環境を常に整備するとともに安全教育を行う	A			
人との関わりの中で、学びあい、育ちあう関係をつくる	異年齢交流や友だちとの関わりの中で互いに刺激を受けたり、自信がつく取り組みを行う。	・さまざまな経験を通して協調性や思いやりの気持ちを育てる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がこどもの気持ちを受けとめて周りの子に伝えたり、話し合いをすることで、友だちの気持ちを感じることが出来るようになってきている。 ・「すごいな」と良さを認めたり、友だちの個性についても認め合う関係が育ってきている。 ・色々な異年齢活動を通して、大きいクラスの子への憧れの気持ちや小さいクラスの子へのいたわりの気持ちが育っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・重点目標を常に意識しながら日々の保育に取り組みされていると思いました。 ・異年齢交流を通して、こどもが互いに認め合う機会に繋がっています。そのことが主体的な活動に結びついていると思います。
		・お互いのことを認め合い育ちあう関係づくりを行う	A			
		・異年齢交流を積極的に行い、憧れの気持ちやいたわりの心が育まれるよう取り組みを行う	B			
自然に触れる体験を通して、生命の不思議さや尊さに気づく	近隣の公園や土手に散歩に出かけ自然に触れたり、プランターでの菜園活動や昆虫を飼育するなど命の大切さを感じる活動をする。	・自然とのふれあいや体験を大切にし、生活や遊びの中での学びを保障する	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭や散歩に出ることで季節を感じたり、虫や植物などの自然物を観察するなど自然物に関心を持つことが出来た。特に菜園活動では「育て収穫しクッキングをして食べる」という流れから食への関心にもつながることが出来た。 ・意欲や探求心などを引き出すために、興味、関心に合わせて活動内容を工夫したり、室内環境を整えたり作品の飾り方を工夫したりした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も自然に触れる機会を大切にしたい。 ・自然とのふれあいや菜園活動などを計画的に進められていて、興味・関心をもってこどもたちが活動できる環境づくりを工夫されています。
		・園児の意欲や探求心などを引き出す保育教諭の関わりを大切にする	A			
		・遊びの中での成功体験や失敗体験から集中力や粘り強さなどを育てる	A			
主体的に遊びこむ活動を保障し、学びに向かう芽を育てる	自立心を育て、他の幼児と関わりながら、主体的な活動を展開する。 子どもの興味や関心、発達、季節に応じた環境の中、遊びの楽しさを味わえるようにする。	・保育教諭との温かいふれあいを通して愛着関係を育み意欲的に生きていく力につなげる	A	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児クラスでは担当制保育を行い一人一人の気持ちを受け止め丁寧に関わったり、幼児クラスでは予定を知らせるなど見通しを持ちやすくすることで安心して過ごせるようにし、その安心感を元に自分でやってみようとする気持ちを育ててきた。 ・行事に向けては、こどもたちから「こうしたら」という意見が出るなど自分たちで考え作り上げる姿が見られるなど成長のきっかけになっていた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から積極的に遊びに取り組みの様子があがってきた。 ・先生方が一人一人のこどもを理解して、寄り添い、自己肯定感を高め、自信をつけるような保育を展開されています。
		・園児の行動を温かく見守りながら思いを受けとめ自尊感情を育てる。	A			
		・「主体的・対話的・深い学び」を実現する実践を展開する。	B			
		・園児の興味・関心に基づき、遊びこめるよう様々な職種との協力のもと環境を整える	A			
保護者や地域の方と連携し、ともに子育てをする	日々の送迎時や懇談会等で子どもの良いところや成長を分かちあう。 園庭開放や子育てサロン、ほっと預かりやリフレッシュ預かり等で地域の保護者に専門性を活かした保育の提供や相談対応を行う	・家庭環境や保護者のニーズを理解し、ともに子育てしていく視点を持ち信頼関係を築く	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、キッズビューで園での様子を配信したり、送迎時や懇談の際に保護者と会話することで家庭での様子を知ったり園で大切にしていることを伝えたりすることが出来た。 ・園庭開放で来られた方と交流することで年齢の姿を見ていただくことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、園での様子を配信されるとのこと。保護者も安心して園に預けられているのではないかと思います。 ・保護者や地域の方に園の取組を分かりやすく丁寧な発信されていて、信頼に繋がっています。
		・保護者に教育・保育内容をドキュメンテーション等で可視化し、子どもの成長を共有する。	A			
		・地域の関係機関や子育て支援関係者と連携、協力を図り、適切な支援を行う	B			
		・様々な子育て支援事業を行い、専門性を活かした保育の提供や相談対応を行う	B			
幼稚園、小学校、中学校と連携し、学びと育ちをつなぐ	年長クラスが中心となり、近隣の幼稚園・小学校と交流し、つながりを深める。 こども園の育ちと小学校の学びがつながるようにしていく	・地域の幼稚園・小学校との交流について職員間で共有し、教育保育の質の向上を図る。また、散歩や災害訓練等で園児が小学校を訪問する機会をつくる	B	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練などで小学校、中学校へ訪問させてもらったり、5歳児は地域のサロン、小学校、幼稚園とも交流させてもらったりした。 ・小学校の先生に来ていただいたり園の職員が小学校に行って授業の参観をしたり、先生方との話し合う機会をもて相互理解をすることができた。 ・幼稚園の行事にも職員が身に行かせていただき刺激を受けることが出来た。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・進級がますますきにならないよう今後とも連携をよろしくお願ひします。 ・幼・小との交流も繰り返しされていて、こどもたちが楽しみながら活動できていて小学校への円滑な接続に繋がっています。先生方の学び合いも良いと思います。
		・一人ひとりの園児の育ちについて、小学校と情報を共有し、円滑な接続につなげる。	B			
		・乳幼児期に育てたい力が小学校以降の学びにつながるような指導計画を作成し、「10の姿」を意識した教育・保育を実践する。	A			
職員の資質向上をめざす	教育的視点を持った保育や環境について学び合い、実践にいかす	・研修などを通して専門性や倫理性の向上に努めるとともに自己研鑽を積極的に行う	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員が研修に参加し、研修での学びをクラスに還元していった。 ・クラス担任と朝夕職員、看護師、栄養士、事務所と連携することで、こどもの育ちへとつながることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会でのクラスごとの発表が資質向上につながる大切な取り組みだと思います。 ・職員間で連携し、情報共有することで、こどもの育ちや学びに活かすことが出来ています。
		・教育・保育実践を振り返り、自己評価を通して質の向上を図るとともに専門性を高める	A			
		・理念や方針、教育・保育課程や指導計画について職員同士が共通理解する	A			
		・職員同士の交流や情報交換を円滑に行い、園児の学びと育ちをつないでいく	A			

今後の取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法	園長より
<ul style="list-style-type: none"> 生活に見通しを持ち、身の回りのことを意欲的に自分でしようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しを持ちやすいように、生活の流れを決めたり予定を分かりやすく知らせたりする。 時間に余裕をもち「やってみよう」とする気持ちになるのを待つ。 丁寧に知らせたり、援助するなど子どもの姿に合わせた支援をする。 	<p>こどもの主体的な姿について話し合うなど『主体性』を大切に教育・保育を行ってきました。また外部講師を招き環境について皆で学び主体的にあそべる環境を整えてきました。来年度は引き続き主体的に生活できるような環境を整えたり、時間に余裕をもつなどかかわり方も工夫していきたいです。また生活やあそびを通して友だちとの関係が深まるよう援助していきたいです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 主体的に遊び、学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの興味関心に合わせて玩具を用意したり、やりたい遊びを選べるように色々な玩具を用意する。 遊びこめるような空間作りをする。 遊びがより深まり学びにつながるように、関連するものを用意するなど環境を整える。 	
<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを言葉で伝えたり、相手の思いに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して思いを伝えられるように気持ちを受け止め、言葉にして伝えられるようにしていく。 相手の思いを知らせたり、友だちの気持ちに気づけるように援助する。 グループ活動や異年齢交流をして、お互いのことを認め合い育ちあう関係を作る。 	